

# 国際的オンライン教育プラットフォーム (JV-Campus)

## アンケート調査結果報告書

### 1 アンケート調査の背景

新型コロナウイルス感染症拡大を発端としてオンラインを活用した教育は世界的に急速に広がり、高等教育におけるニューノーマルの一端を担うようになった。このような世界的に国際教育を取り巻く環境が大きく変化している動向を背景に、スーパーグローバル大学創成支援事業では 2021 年度「日本発国際的オンライン教育プラットフォーム『Japan Virtual Campus (JV-Campus) (仮称)』」(以下、プラットフォーム)を構築し、国内外大学で構成するコンソーシアムによるオンライン科目を発信することで、我が国の高等教育のニューノーマルにおける国際競争力ある教育環境を整備することになった。プラットフォームへのより多くの教育機関から幅広い参画を推進するため、全国の大学および高等専門学校を対象にプラットフォーム利用状況やコンテンツニーズについての調査を実施した。

### 2 アンケート調査の目的

本調査の目的は、オンライン教育プラットフォームに対する高等教育機関等での具体的なニーズを明らかにすることにある。すなわち、本調査はプラットフォームへの大学および高等専門学校の参画可能性を高めるために、オンライン教育環境、オンライン教育発信ニーズ、オンライン教育受講ニーズ等についての具体的な設問を設定することで、コンテンツニーズを明らかにした。

### 3 アンケート調査の方法と回収結果

- (1) 調査名称：文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU 事業) における新たな国際的オンライン教育プラットフォーム構築プロジェクト (JV-Campus) に関するアンケート
- (2) 調査実施者：筑波大学 JV-Campus 事業チーム
- (3) 調査対象：
  - ① 国立大学、公立・私立大学：795 校
  - ② 国立高等専門学校、公立・私立高等専門学校：57 校
- (4) 調査方法
  - ・調査票の記入方法：オンライン Microsoft Forms への入力式
  - ・配布と回収の方法：メールで配布のうえ、オンライン上での回答方式
  - ・配布日：①7月下旬、②8月下旬
  - ・回収期限：①8月20日、②9月8日

#### 4 アンケート調査の回収結果

対象	種類	全回収（回収率）	有効回収（有効回答率）
国立大学、公立・私立大学	受講	280（35.2）	261（32.8）
	提供	285（35.8）	252（31.7）
国立高等専門学校、公立・私立高等専門学校	受講	9（15.8）	9（15.8）
	提供	9（15.8）	9（15.8）

#### 5 アンケート結果について

① オンライン教育プラットフォームは、受講・提供とも高い関心がある。

② 受講ニーズと提供ニーズの一致

受講・提供とも一般教養・語学科目・資格取得・データサイエンスへのニーズが高くみられる。すなわち、JV-Campus が受講と提供を繋ぐ役割を果たしていくことで、各大学の教育プログラム充実化に貢献できると期待される。

③ リクルーティングへの貢献の可能性

学生リクルーティングを目的としたコンテンツ発信の需要が高く、国内外の学生へアピールできるコンテンツを集積できると期待される。

=>①～③の帰結として、JV-Campus は日本の高等教育の国内外に対するポータルとなる可能性が期待できる。

④ 一定の金額負担

受講・提供とも、金額負担について一定の大学が肯定的に捉える結果となっており、多くの機関が参画できる金額設定とすることでJV-Campus の運営の自走化の一助となると期待される。

#### 【別添資料】

質問全文

1-1：コンテンツ受講について（質問全文）\_大学

1-2：コンテンツ提供について（質問全文）\_大学

1-3：コンテンツ受講について（質問全文）\_高等専門学校

1-4：コンテンツ提供について（質問全文）\_高等専門学校

アンケートグラフ

2-1：コンテンツ受講（アンケートグラフ）\_大学

2-2：コンテンツ提供（アンケートグラフ）\_大学

2-3：コンテンツ受講（アンケートグラフ）\_高等専門学校

2-4：コンテンツ提供（アンケートグラフ）\_高等専門学校

アンケートのお願い

3-1：JV-Campus に関するアンケートお願い\_大学

3-2：JV-Campus に関するアンケートお願い\_高等専門学校